

<p>研修名</p>	<p>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」 ～「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学分野 准教授 加藤 隆弘 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和6年10月18日(金) 9:30~12:15</p>
<p>開催場所</p>	<p>総合保健福祉センター(アシスト21)6階 視聴覚教室</p>
<p>参加者数</p>	<p>44名(職種:保健師、看護師、介護支援専門員、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員など)</p>
<p>研修内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談窓口や施設において相談支援に従事する人に対し、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介し、さらに相談支援の現場においてうつ病など心の不調を抱えている人への対応について解説しました。 ・参加者は、「メンタルヘルス・ファーストエイドとは何か」や、うつ病などの疾患について説明を受けたのち、演習形式(ロールプレイ)で「傾聴」や「メンタルヘルス・ファーストエイドに基づく対応法」を体験しました。 ・ロールプレイ中も盛んに意見交換が行われており、大変活気のある研修となりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病の方に対しての声かけが難しく、傷つけないように気をつけて話していました。今日学んだことを実践したいです。 ・とてもわかりやすく解説していただいたと思います。実際に業務の中で「死にたい」と言葉を投げられたこともあり、どんな言葉を相手に使って良いのか悩んでいたところです。今後の相談業務で思い出しながら取り組みたいです。 ・とても分かり易い研修だった。早速職場で共有し、活用したいと思う。 ・ロールプレイをやることで、面談の流れを深く理解できました。 ・メンタルヘルスファーストエイドの型を覚えて、困っていてSOSを出されている方に気づき、役立てたらと思う。